

経営比較分析表（令和5年度決算）

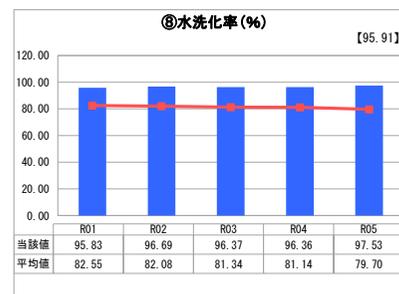
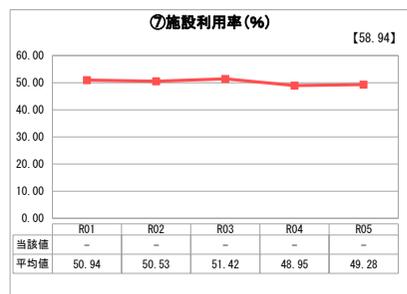
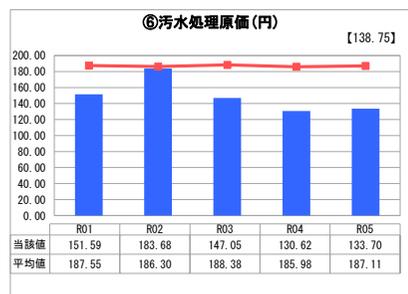
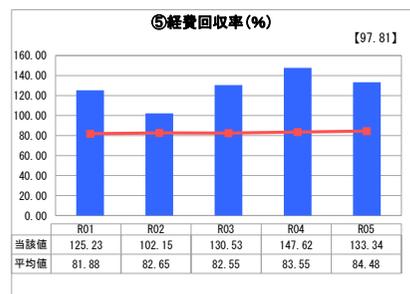
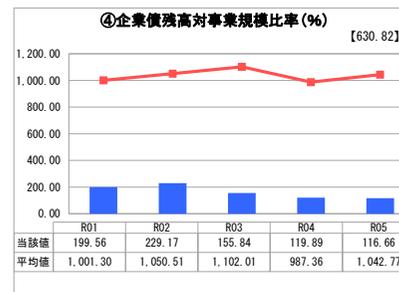
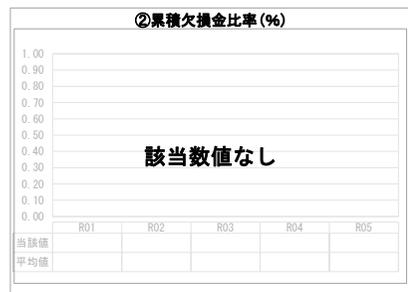
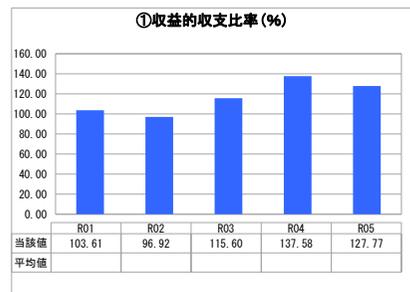
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	14.10	101.62	2,145

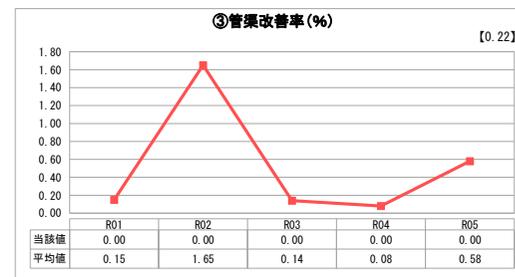
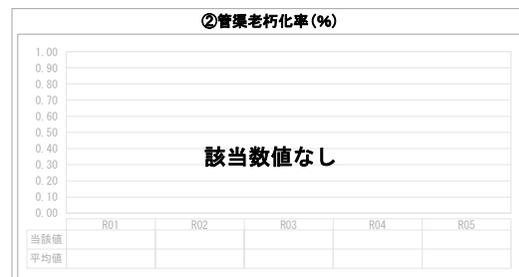
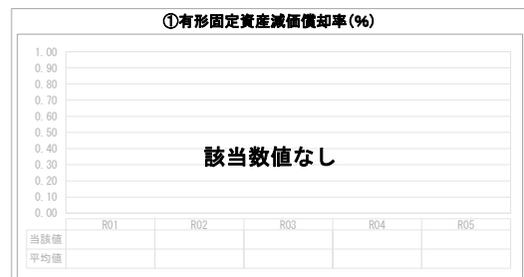
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,859	38.64	462.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,509	0.99	2,534.34

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
前年度と比べ、9.81%減少した。これは、令和5年度が打ち切り決算であったことから、前年度と比べ、総収益が39,230千円減少していることが要因であり、使用料収入が27,834千円減少したことによるものである。

④企業債残高対事業規模比率
前年度と比べ、3.23%減少した。地方債現在高合計が前年度比75,354千円減少、一般会計負担金が36,167千円減少しており、比率の減少要因となっている。

⑤経費回収率
前年度と比べ、14.28%減少した。打ち切り決算により使用料収入が減少したことが要因である。減少したものの経費回収率は133.34%と高い水準にある。

⑥汚水処理原価
前年度と比べ、3.08円増加した。これは打ち切り決算により年間有収水量が68,168m³減少したことが要因である。

⑧水洗化率
例年、95~97%台で推移しており、全国の類似団体の平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
例年、0.00%となっているが、今後は、管渠の更新及び耐震化等について計画的に進めていく。

全体総括

収益的収支及び経費回収率は前年度と比べ、打ち切り決算の影響により減少した。新規借入額を償還額が上回っているため、企業債残高対事業費率は前年度と比べ減少した。経営状況の悪化は見られないが、今後も継続促進や経費削減を行い、計画的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。